

# 臨床研究「頸椎動静脈シャント疾患の病態および血管構築の解明」のための

## 医療データ提供のお願い

当院では、希少疾患である頸椎動静脈シャントの病態解明を目的とした、多施設共同後ろ向き研究に参加しております。

### 研究の目的

頸椎動静脈シャントの臨床症候と画像所見を収集し、それを詳細に検討することにより動静脈シャントの血管構築を解明し、疾患概念を明らかにすることを目的とします。また本研究は、第35回日本脳神経血管内治療学会学術集会の企画として行われます。

### 研究対象者

2010年1月1日から2018年7月31日の間に、頸椎動静脈シャント疾患のために大阪大学附属病院に入院(あるいは通院)し、治療・画像検査をされた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年7月31日まで

### 研究の方法

血管造影所見を解析し、シャントの栄養血管、シャント部位、導出動脈の状態から、疾患の血管構築を検討し、病態究明を行ないます。

### 試料・情報の項目

- a. 患者背景（年齢，性別，症状[神経症状，脳脊髄浮腫，出血，その他]）
- b. 血管構築
  - ・シャントの存在部位(perimedullary, radicular, dural, epidural)とその頸椎レベル(C1-7)
  - ・流入動脈
  - ・流出静脈
  - ・付随所見の有無(feeder aneurysm, intranidal aneurysm, varix)
- c. 治療前後のMRI 所見
- d. 治療内容（外科的離断術，塞栓術，保存的治療）と経過（症状経過，mRS）

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報は固く守られています。また、この研究で得られた情報を取りまとめる際、患者さん個人を特定できる情報(氏名・住所・電話番号等)は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。ご提供頂いた医療データは研究終了後、主任研究者が厳重に保管し、研究終了5年後に廃棄されます。この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報

を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください(2019年7月末まで)。医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

担当診療科 脳神経外科

担当医師 西田武生

責任医師 中村元

病院名 大阪大学医学部附属病院

住所 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

電話番号 06-6879-5111(大代表)